

ゆた 豊かな暮らしを続けるために

未来まで続く豊かな暮らしを実現するためには、どのような考え方が必要か、考えてみましょう。

わたしたちの暮らしを支えるもの

わたしたちの暮らしに欠かせないきれいな空気、豊かな水、食料や資材などは、実は、森・里・川・海がつながることで生み出される「自然のめぐみ」なのです。自然のめぐみは、自然が保たれることで得られる大切な資源であり、わたしたちの暮らしを支えています。

例えば、「森」では、木が光合成により酸素をつくり、きれいな空気が生まれます。森のやわらかい土が雨を吸収して「川」にゆっくり流れていくため、洪水や水不足が起きにくくなります。森から流れ出た水には、栄養分がたくさん含まれており、「里」の水田や畑にも流れて農作物を育て、魚が行き来します。「海」までたどり着いた栄養分は、魚や貝、海藻を育てます。森・里・川・海はそれぞれがめぐみを生み出し、お互いのつながりが、そのめぐみをより大きく育てます。

しかし、行き過ぎた開発や手入れ不足などによって、そのつながりが急速に失われつつあります。このままでは、動植物などの身近な資源がなくなり、森林や里地里山が荒れていってしまいます。

そんな中、わたしたちにできることは、自分たちの暮らし方は今のままでいいのか、一度ふりかえてみることです。

